

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が8,812例(男性3,883例(10歳代502例, 20歳代702例, 30歳代542例, 40歳代576例, 50歳代362例, 60歳代250例, 70歳代202例, 80歳代109例, 90歳代23例, 年齢非公開615例), 女性4,137例(10歳代437例, 20歳代753例, 30歳代670例, 40歳代662例, 50歳代411例, 60歳代210例, 70歳代205例, 80歳代169例, 90歳代106例, 100歳以上8例, 年齢非公開506例), 性別及び年齢非公開792例)あり, 本年の累積報告数は16,862例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **梅毒**の報告が2例(20歳代男性及び20歳代女性)ありました。感染経路はいずれも性的接触です。本年の累積報告数は3例になりました。
京都市では, 平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については, 下記のホームページをご覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- ・ **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**の報告が1例(90歳代女性)(第3週追加報告分)あり, 症状は発熱, 菌血症です。本年初めての報告です。
- ・ **インフルエンザ**は, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国でも報告数は極めて少なく(定点医療機関数約5,000から55例の報告), 現在のところ流行の兆候はありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2022年第4週, 本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者が8,812例報告されました。第1週は559例, 第2週は2,090例, 第3週は5,382例報告されており, 現在, 過去最大の急激な流行が起こっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域※, 感染経路※の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- ・ 二類: 結核 7例(肺結核 3例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 19例(肺結核 5例, その他結核 9例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 なし】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 8,812例**【1月以降の累積報告数16,862例】
- ・ 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: **バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

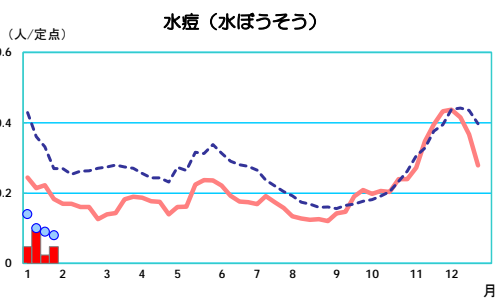
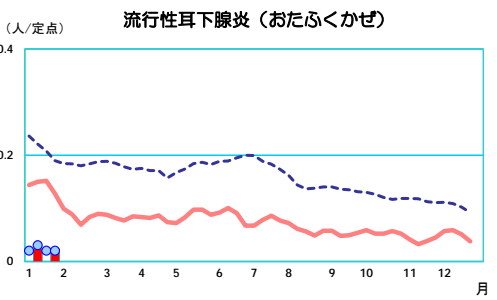
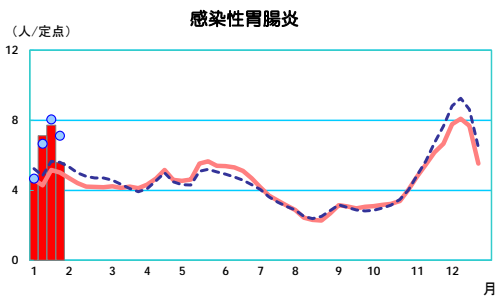
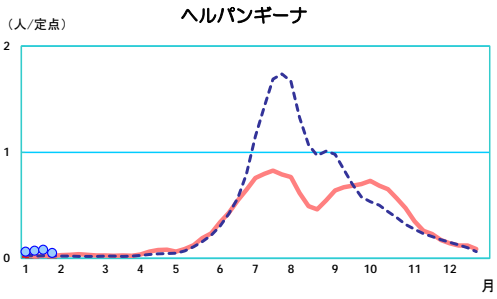
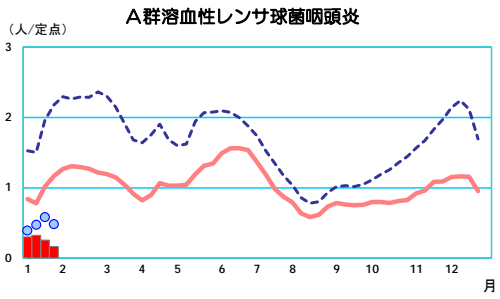
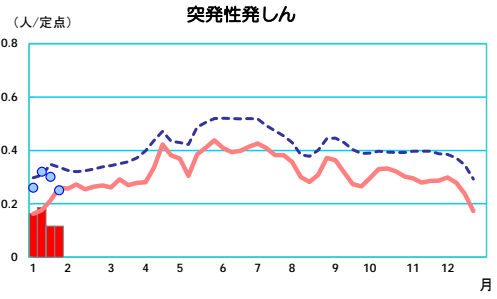
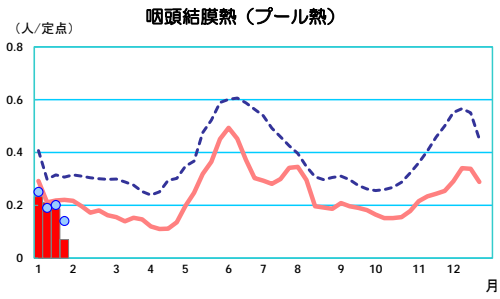
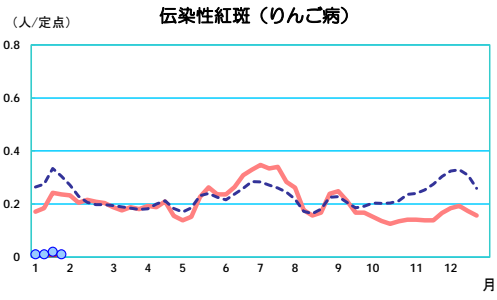
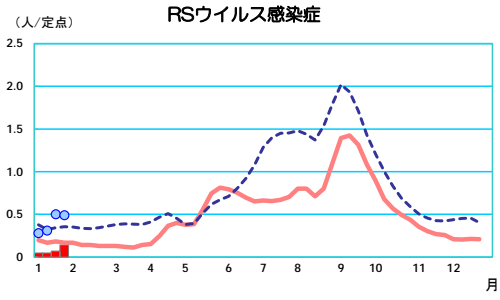
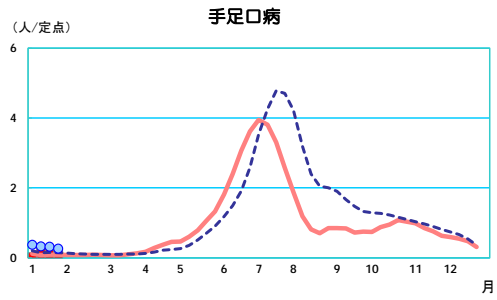
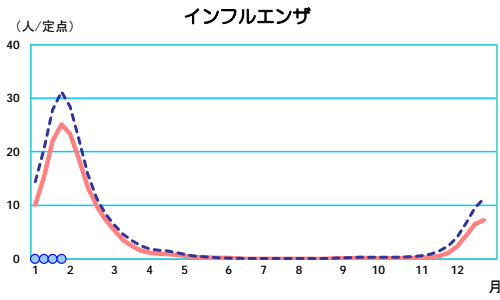
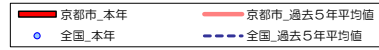
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.58	240
	② 手足口病	0.21	9
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.16	7
	④ RSウイルス感染症	0.14	6
	⑤ 突発性発しん	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

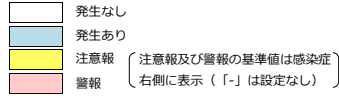
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2022年2月2日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

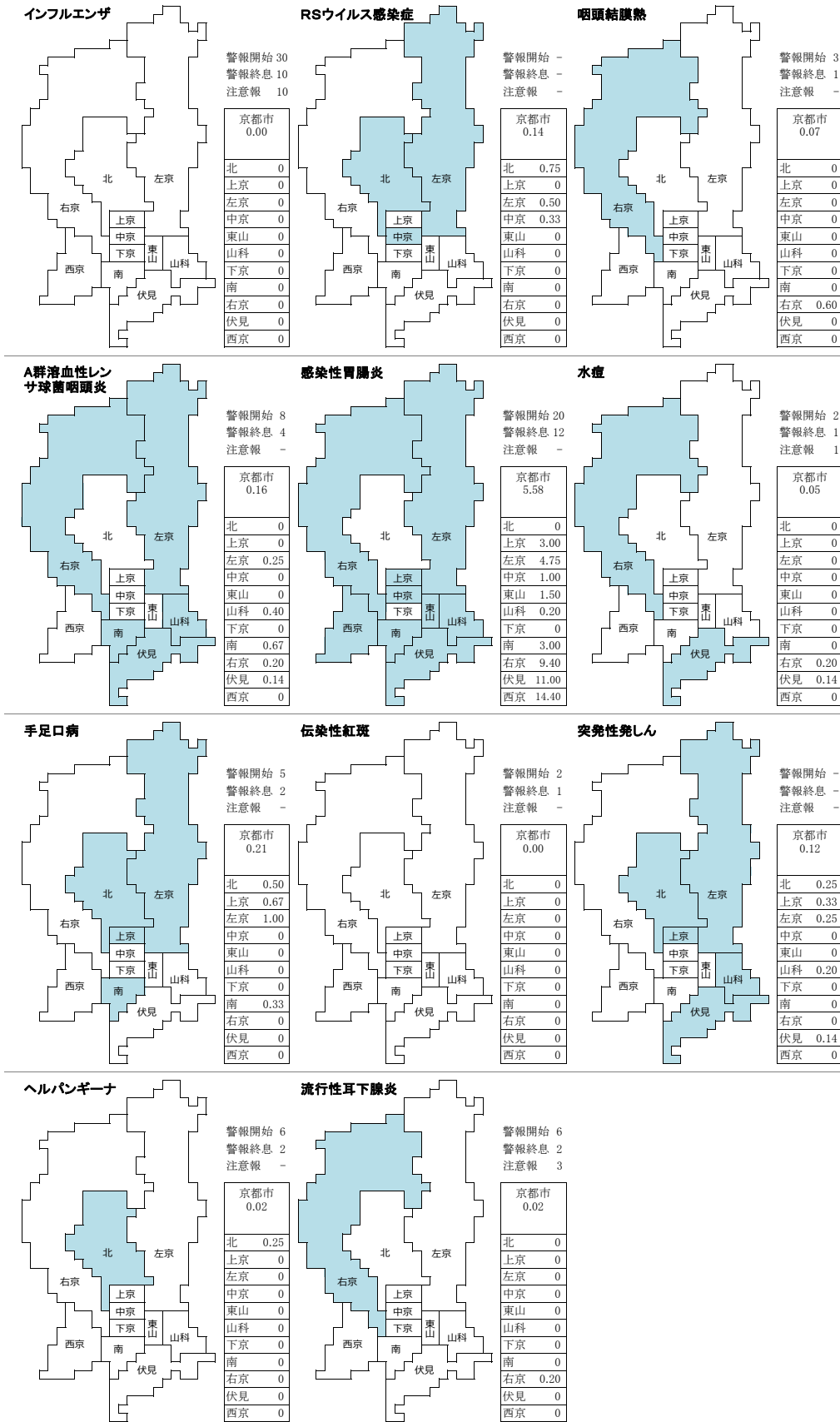
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第4週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第4週(1月24日～1月30日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2022年第4週、本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者が8,812例報告されました。第1週は559例、第2週は2,090例、第3週は5,382例報告されており、現在、過去最大の急激な流行が起こっています。

本市の新型コロナウイルス感染症の報告数を月別に見ると、2020年4月及び8月、2021年1月、同5月と8月にピークが見られ、その度にピークの大きさが増大する傾向にありました(図1)。しかし、2022年1月の報告数は18,455例と昨年8月の2倍以上になり、この1ヶ月だけで昨年の報告数21,279例の約85%にも上っています。

京都府の病床使用率を見ると、入院者数の指標である確保病床使用率は昨年12月下旬から増加し始め、今年1月末には50%を超過しています(図2)。重症者数の指標である高度重症病床使用率も1月上旬から同様に増加しており、1月末には20%程度になっています。実際には、これらの病床がいつでも全て利用できるとは限らないため、既に相当の医療資源が消費されており、逼迫し始めています。

現在の流行はオミクロン株が主流となっています。従来株は主に下気道で増殖するのに対し、オミクロン株は上気道で増殖しやすく、この違いが従来株との違いを生み出していると考えられています。具体的には、従来株は肺の深部で増殖するため肺炎を起こしやすかったのに対し、オミクロン株はより鼻や口に近い部分で増殖するため、多くの人が鼻水や喉の痛みなどの軽い症状で済んでいます。ただ、上気道で炎症が起これば咳が出やすいこと、増殖部位が外部に近くウイルスの排出量も増えることなどから、従来株より感染を広げやすいと言われてい

ます。オミクロン株は比較的重症化しにくいとはいえ、感染者が増えているため重症化する患者は多くなっています。医療が逼迫し医療崩壊となれば、新型コロナウイルス感染症の患者だけに留まらず、通常であれば救えるその他の患者の命さえ助けられない事態にもなりかねません。

オミクロン株であっても従来株と同様、感染予防には手を洗ったり消毒したりすること、マスクを着用することが重要です。引き続き三密を避けるとともに、ひとりひとりが予防を心がけましょう。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

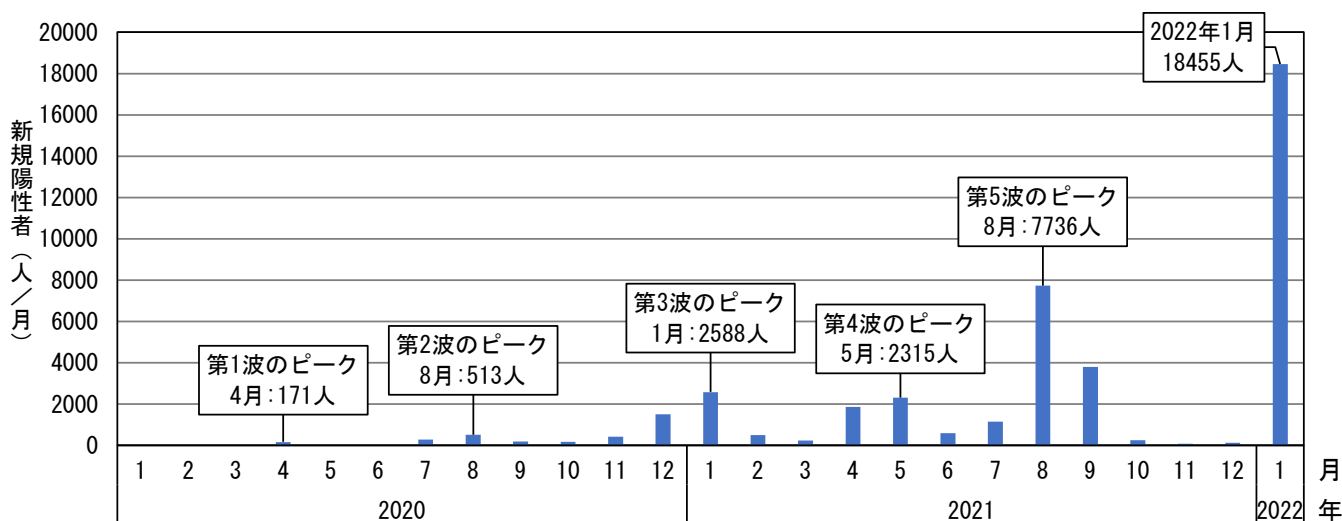


図1. 本市の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数(月別)

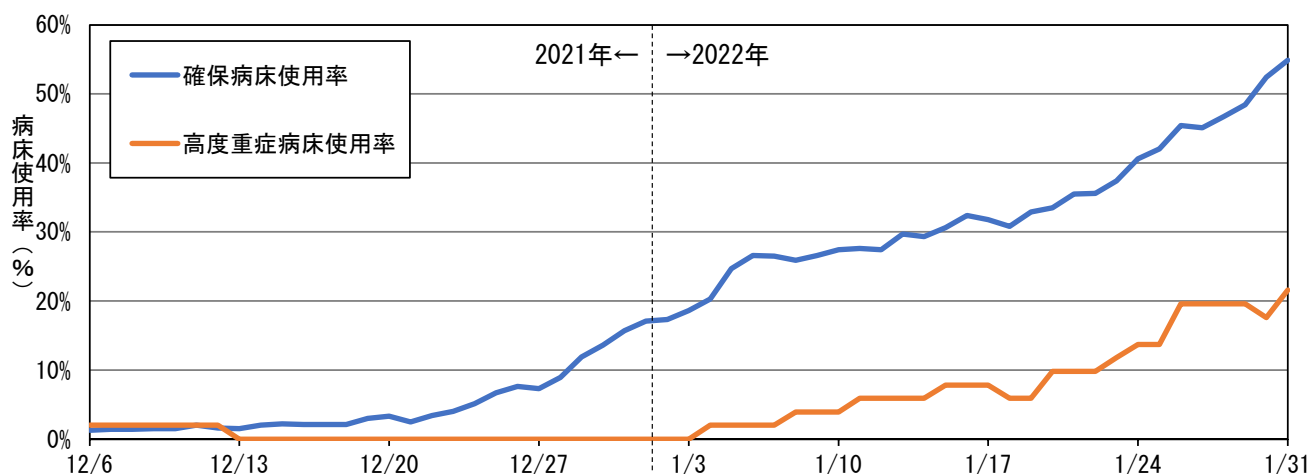


図2. 京都府の確保病床使用率と高度重症病床使用率[＃]

([＃])京都府ウェブサイト「確保病床等の状況」を基に作成。
(https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/tassei_jyokyo.html)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第4週

疾病,行政区別報告数

2022年1月24日～2022年1月30日

データ入手日:2022年2月2日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	3	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	3	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	9	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	-	1	19	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	1	47	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1	77	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	6	3	7	240	2	9	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.75	-	-	-	-	0.50	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	0.75	-	-	-	-	0.50	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	3.00	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	-	0.25	4.75	-	1.00	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.40	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.67	3.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	0.20	9.40	0.20	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.14	11.00	0.14	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	14.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.14	0.07	0.16	5.58	0.05	0.21	-	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第4週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年1月24日～2022年1月30日

データ入手日:2022年2月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	6	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		240	5	14	34	42	37	25	13	12	6	4	3	11	4	30	-	-	-	-	-	-	-
水痘		2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		9	-	1	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	0.05	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.16	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.58	0.12	0.33	0.79	0.98	0.86	0.58	0.30	0.28	0.14	0.09	0.07	0.26	0.09	0.70	-	-	-	-	-	-
水痘		0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.21	-	0.02	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.12	-	-	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第4週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年2月2日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	1	4	2	2	3	6
咽頭結膜熱	10	4	10	9	8	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	5	13	14	11	7
感染性胃腸炎	452	176	206	306	332	240
水痘	-	6	2	4	1	2
手足口病	60	24	6	12	10	9
伝染性紅斑	-	-	-	-	1	-
突発性発しん	9	5	7	8	5	5
ヘルパンギーナ	13	9	1	1	-	1
流行性耳下腺炎	1	2	-	1	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	2	-	1	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	568	237	249	357	372	274

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	0.02	0.09	0.05	0.05	0.07	0.14
咽頭結膜熱	0.23	0.09	0.23	0.21	0.19	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.12	0.30	0.33	0.26	0.16
感染性胃腸炎	10.51	4.09	4.79	7.12	7.72	5.58
水痘	-	0.14	0.05	0.09	0.02	0.05
手足口病	1.40	0.56	0.14	0.28	0.23	0.21
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.02	-
突発性発しん	0.21	0.12	0.16	0.19	0.12	0.12
ヘルパンギーナ	0.30	0.21	0.02	0.02	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.20	-	0.10	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.35	5.67	5.94	8.30	8.73	6.37

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。